

健康社会研究センター ニューズレター 第 24 号

2012. 08. 23 発行

◆ 目次 ◆

- 1 プレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 4 その他お知らせ

1 プレスリリース

歯を失って義歯を使わなければ転倒のリスクが 2.5 倍に

～厚生省研究班が健康な高齢者 1763 名を追跡して明らかに～ (8 月 1 日)

歯の状態とその後の転倒とが関連していることが、65 歳以上の健常者 1763 名を対象にした 3 年間の追跡調査で判明しました。郵送調査の 3 年後に過去 1 年間に転倒したか否かを再調査しました。その結果、性、年齢、期間中の要介護認定の有無、うつの有無などに関わらず、歯が 19 本以下で義歯を使用していない人は、転倒のリスクが高くなることが示されました。さらに、歯が 19 本以下でも義歯を入れることで、転倒のリスクを約半分に抑制できる可能性も示されました。

<詳細はこちらから→ <http://cws.umin.jp/press-releases/035.pdf>>

ソーシャルキャピタルが弱い地域に住む女性は、要介護状態になる危険性が 1.68 倍高い (7 月 31 日)

人々の絆が強ければ、助け合いや情報交換が活発になると考えられる。このような人々の絆から生み出される信頼や助け合い、ネットワークなどを「ソーシャル・キャピタル」という。厚生労働省は、ソーシャルキャピタルを健康の向上に活用することを発表している(2012 年 7 月発表、健康日本 21 (第 2 次))。本研究では 65 歳以上の高齢者を 4 年間追跡した 14,589 名のデータを用いて、地域のソーシャルキャピタル(地域の信頼)が弱い地域に住む女性は、強い地域に住む女性に比べて、要介護状態になるリスクが 68% 高くなることが示された。男性では統計学的に有意な関連は示されなかった。

<詳細はこちらから→ <http://cws.umin.jp/press-releases/034.pdf>>

2 主な研究成果発表

<論文等>

- ① Yamamoto T, Kondo K, Misawa J, Hirai H, Nakade M, Aida J, Kondo N, Kawachi I, Hirata Y. Dental status and incident falls among older Japanese: a prospective cohort study. *BMJ Open* 2012;2:e001262 doi:10.1136/bmjopen-2012-001262.
- ② Masashige Saito, Naoki Kondo, Katsunori Kondo, Toshiyuki Ojima, Hiroshi Hirai: Gender differences on the impacts of social exclusion on mortality among older Japanese: AGES cohort study. *Social Science & Medicine*, 75 (5), 940-945. 2012.
- ③ 山本龍生：(連載) 8020 運動の新たな展開を目指して 歯の健康と認知症. *社会保険旬報* (2503) : 26-27, 2012. 8. 1
- ④ 山田実, 松本大輔, 林尊弘, 中川雅貴, 鈴木佳代, 近藤克則：転倒の少ない市町はあるか：AGES プロジェクト. *厚生指標* 59 (8) : 1-7, 2012.

<学会報告>

- ① Kayo Suzuki, Megumi Kano, Jimpei Misawa, Kayako Sakisaka, Etsuko Yuhara, Katsunori Kondo: Self-Reported Physical, Psychological and Financial Mistreatment among Community-Dwelling Older Adults in Japan 11th International Federation on Ageing Conference, 2012. 5. 31, Prague, Czech Republic.
- ② 尾島俊之, 藤原武男, 鈴木佳代, 三澤仁平, 齊藤雅茂, 近藤克則, 近藤尚己, 中出美代, 筒井秀代, 徳本史郎, 村田千代栄: ライフコースアプローチで見た身長と BMI : JAGES プロジェクト. 第 48 回日本循環器病予防学会, 2012. 6. 15, 東京
- ③ 山本龍生, 近藤克則, 三澤仁平, 平井寛, 中出美代, 相田潤, 近藤尚己, Ichiro Kawachi, 平田幸夫: 大規模コホート研究からみえてきた高齢者の歯数・義歯と転倒との関係. 深井保健科学研究所 第 11 回コロキウム, 2012. 7. 15, 東京

<講演等>

- ① 近藤克則: 「一体改革」の中での医療・介護提供体制をどうみるか. 保団連夏季セミナー, 東京保険医協会. 2012. 7. 8
- ② 近藤克則: 健康格差社会への処方箋. 平成 24 年度保健師中央会議, 厚生労働省健康局. 2012. 7. 13, 東京.
- ③ 近藤克則: シンポジウム 2 日本における地域・社会的サポートの力.
パネルディスカッション 健康社会決定因子研究の展望と方向性.
大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生セミナー, 大阪. 2012. 7. 30
- ④ 近藤克則: JAGES HEART の到達点と課題. 国際シンポジウム 介護予防・健康政策マネジメントの新潮流—社会環境や格差への着目. 日本医療・病院管理学会/東海病院管理学研究会 共催, 名古屋, 2012. 8. 4

<マスコミでのコメント>

- ① 山本龍生: 認知症発症 歯の健康で「差」 「よくかむ」が予防に. 日本農業新聞 2012 年 7 月 3 日

3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

・介護予防 WG (JAGES)・AGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります.

・9 月研究会

【日 時】9 月 17 日 (月・祝) 10:30~

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

・10 月研究会

【日 程】10 月 6 日 (土)

【場 所】未定

・11 月研究会

【日 程】11 月 25 日 (日)

【場 所】未定

・The World Health Organization (WHO) Meeting

Meeting on Developing Indicators for the Global Age-Friendly Cities Network

【日 程】2012 年 8 月 30 日・31 日

【場 所】St Gallen, Switzerland

4 その他お知らせ

① 研究費採択について

- ・長寿科学総合研究推進事業（国際共同研究事業）長寿科学振興財団
「日英の高齢者の健康と健康格差の国際比較研究」が採択されました。
研究期間：2012年9月1日～2013年3月31日
研究代表者：近藤克則

② 厚生労働省の動向について

2012年7月10日に公表された「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21（第2次）」
「国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向」として「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」が掲げられまし
た。

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkounippon21_03.pdf

厚生労働省告示第430号

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkounippon21_01.pdf

「健康日本21（第2次）の推進に関する参考資料」の参考文献として研究成果が引用されています↓

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002ddhl-att/2r9852000002ddxn.pdf>

③ その他学会等お知らせ

第9回広島保健医学学会学術集会・第13回広島保健福祉学会学術大会

【テーマ】多様化する社会と人間の健康

【日時】2012年9月30日（日）

【会場】広島大学広仁会館

【特別講演】近藤克則「健康格差社会への処方箋—社会環境への着目—」

④ セミナー開催のご案内

HPH (Health Promoting Hospitals & Health services) セミナーが開催されます

【日時】2012年9月15日（土）・16日（日）申込締切 8月30日

【場所】AP東京八重洲通り

【主催】全日本民主医療機関連合会

【後援】国際HPHネットワーク

【連絡先】全日本民主医療機関連合会 医療部

電話：03-5842-6451 email: iryoubu@min-iren.gr.jp

詳しくはこちらHPをご覧ください↓

http://www.min-iren.gr.jp/gakujutsu/jisyukenkyukai/report/2012/20120802_01.html

ニューズレター第24号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<k-manami*n-fukushi.ac.jp
(泉)>までお知らせください（ご連絡の際は*を@に変更して下さい）。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

【発行元】健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」（2009年3月14日開催）及び、「健康の社会的決定要因」を巡る国際的動向（2011年12月23日開催）、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」（2012年1月8日開催）にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。